

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25007

学校名：豊園小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録より上回った種目 20mシャトルラン、ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 長座体前屈、握力、上体起こし、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び	○肥満傾向の児童数は減ったが、軽度肥満が1割を超えている。運動することは嫌いではないが、全体的な体の使い方などが落ちていると思われる。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録より上回った種目 長座体前屈、上体おこし ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 握力、反復横跳び、20mシャトルラン 立ち幅跳び、	○「中等度肥満、軽度肥満」の児童が2割ほどおり、瞬発力や持久力を伴う運動の数値が下がっている。それに対して、柔軟性に関しては昨年より数値が上がっている。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	○「運動が好き・まあまあ好き」と回答する 子どもの割合 R6 男子 96.7% 女子 83.8% R7 男子 95.0% 女子 78.9%	○体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで「できたり、わかったりする」子どもの割合 R6 男子 26.7% 女子 16.2% R7 男子 30.0% 女子 15.8%	○女子の運動への興味・関心が昨年より大きく下回り、休み時間などの遊びも特定の子に限られている様子がある。また、ICTを使用しての学習には取り組んできているものの、子どもたちの達成感にはつながっていない。

## 三つの取組

### ①体育・保健体育等の授業の充実

### ②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

### ③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

## 具体的な取組

- ・自ら課題をもてる導入の工夫
- ・活動している時間を増やす
- ・「体を動かすことが楽しい」と思えるようなグループ分けを工夫するなどした授業の構成
- ・自分のレベルに合わせた学習課題の設定（自己決定）
- ・ICT機器を効果的に活用し、自分や集団の運動している姿をふり返り、次の課題を見つけ出す工夫。

- ・休み時間の環境整備環境整備（グラウンドでのドッジボールコート常設、3階ホール及び学習室での縄跳び）
- ・年6回の放課後遊びタイムの設定
- ・日課表を工夫し、下校時刻を早め、放課後遊び時間の確保
- ・跳び箱週間、マット週間の設定
- ・全校での縄跳びの取組（リズム縄跳び）

- ・「いのちの学習」のカリキュラムの位置づけ
- ・給食準備後の食指導の積み重ね
- ・外部講師を招いた「がん教育」「食育」など、専門の方から学ぶ機会の設定

## 家庭・地域との連携・協働

- ・生活リズム（「早ね・早起き・朝ごはん」）を整える家庭教育力の向上を促す啓発活動
- ・放課後遊びのCSへの展開（移行）——地域と協力した遊びの場の設定
- ・懇談会や学校だよりを通して、運動能力実態の共有

